

児童館 こどものひろば



兄弟

さくら・その美しさから万葉の昔より和歌に詠まれ、現在でも国の花としてたくさんの人々に愛されています。また、美しくなつて欲しいとの願いを込めて、名前につけたりします。有名なのは山田洋次監督の映画「男はつらいよ」に出てくる「さくら」です。たよりないやくざな兄「寅さん」の面倒を見るしつかり者の妹が「さくら」です。

社会を構成する最小単位が家族と考えられますが、子どもたちはそこで保護されながらさまざまなルール・人間関係を学んでいきます。兄弟といつても姿かたちが違うように性格もそれぞれ違います。親に対抗する同士になったり競争相手になったりします。最近の兄弟数は大まかに言つて2人が6割、1人が1割、3割が3人以上となっています。また、個室があり、テレビゲームや漫画で一人遊ぶ傾向から兄弟関係が希薄になっているとの指摘もあります。児童館にも兄弟で遊びに来る子がいます。フワードとキー

パーに別れてサッカーをやる子、お母さんのお迎えを弟に伝える姉、転んで泣き出した弟を気づかう兄、カードで仲間と遊ぶ兄と弟など。時には悪口を言ったりしていますが、本当はお互いに心配したり信頼しているようです。仲のよい兄弟が今日も児童館にいます。

豆まき会

2月3日、西児童館の節分の豆まきを河田前公園で約50名が参加して実施しました。

今年は赤鬼と青鬼が現われましたが、赤鬼には西小学校の5年生の男子が立候補して自分で金棒を用意してくれました。職員が用意した赤と青の体操服を着て、菓子箱で作った面をかぶり、金棒を持って2匹の鬼の出来上がりです。鬼同士お互いを確認した後、子どもたちの待っている公園に登場しました。

鬼の言葉と金棒の攻撃に子どもたちは大きな声で「鬼は外」と一斉に豆を投げつけ、公園一杯鬼を追いかけます。鬼も負けずと赤鬼、青鬼助け合いながら子どもたちに向かいましたが、子どもたちの元気な声と体力、数の多さにはかないません。逃げ疲れた鬼は最後には倒れて子どもたちに逮捕されてしまいました。

協力してくれた男子は来年「年男」になるので協力できないと言っていました。お疲れさま、ありがとうございました。

4月の行事予定

西児童館	
くつとばし大会	6日(水)
スタンブラリー	21日(木)
ドッジボール大会	25日(月)
幼児教室開級式	28日(木)
南児童館	
ドッジボール大会	7日(木)
昔あそび	14日(木)
幼児教室開級式	22日(金)
やみなべ大会	25日(月)



学校コーナー

鉄の学習から卒業製作『文鎮作り』に挑戦

五霞東小学校



今年の6年生は、卒業製作として「文鎮」を作りました。これは、子どもたちが昨年度、総合的な学習の一環として、製鉄作りを体験しており、今年度は、鉄の学習のまとめとして、鉄を使った作品作りに挑戦したものです。

2年間にわたる鉄の学習は、東京の刀匠・佐藤さんや、町の鉄鋼会社の協力を得ながら、進められてきました。

昨年度5年生では、夏に利根川の川原で砂鉄を集めてきました。秋には高さ2メートルの手作りたたら炉を完成させました。冬、砂鉄と木炭を使って玉鋼を取り出す古代製鉄法「たたら」の体験学習をしました。出来上がった玉鋼は今でも校長室に飾ってあります。

今年度6年生では、鉄の学習のまとめとして、町の鉄鋼会社・鈴木さんの協力を得ながら、文

鎮作りに取り組みました。持つところを作るネジ穴あけでは、鉄で鉄を切る作業に興味を持ち、みんな真剣でした。次にやすりをかけて表面を美しく仕上げ作業は、なかなか思うようになり、時間がかかりました。でも、少しずつ思い通りの作品が出来上がるにつれて、愛着のこもった眼差しでやすりをかける姿がみられるようになりました。「マイ文鎮」が出来上がったときの子どもたちの顔は、とても満足そうでした。この文鎮は子どもたちのこれからの学習に役立つていくとともに、小学校生活の思い出の品として、大切にしてくれることと思います。

本物に触れる学習は子どもたちに驚きと感動をもたらします。これからも、地元の人たちの協力を得ながら、本物に触れる学習を多く取り入れ、体験や発見、挑戦の場を作り出していきたいと思えます。